

愛媛大学大学院医学系研究科
看護学専攻
博士課程（前期・後期）

Ehime University Graduate School of Medicine
Nursing and Health Science Course
Master's Program in Nursing
Doctoral Program in Nursing



自ら学び、考え、実践する能力と次代を担う誇りをもつ
専門職のリーダーを輩出する



令和6年度

病院で教育を担当する看護師のための
看護教育プログラム
設置

令和7年度

がん看護専門看護師プログラム
設置

2026年度案内

博士前期課程(修士) ※募集人員10名

保健・医療・看護の対象となる人々への深い洞察力、幅広い視野と柔軟な思考力そして高い倫理観をもち、地域包括医療の中で高度な実践、質の高い研究マインドを持つ人材を育成



博士前期課程における
アドミッションポリシー

修士
学位取得

保健・医療・看護における課題に取り組み、自由で先進的な考え方のできる人材を求めています。特に看護職者に限定しておらず、積極的な意欲のある学生を受け入れています。

1. 保健・医療・看護の各専門領域における知識や学術の将来に対する積極的な姿勢と展望をもっている者
2. 保健・医療・看護の発展に寄与し実践力、教育指導力、研究能力を高めるために主体的、建設的に学ぶことを目指す者
3. 将来にわたり自立して保健・医療・看護の研究活動の継続を目指す者
4. 保健・医療・看護などの医療チームの中核となり、チームメンバーと協働する能力をもち社会に貢献できることを目指す者
5. 人間に対するより深い愛情と洞察力をもち、支援者として成長が期待できる者

看護学専攻博士前期課程カリキュラムツリー



病院で教育を担当する看護師のための看護教育プログラムを設置しました

看護教育に必要な、看護の哲学・理論・倫理について豊富な科目が準備されています。総合大学である愛媛大学の特徴を活かして、教育学研究科のリカレント/高等科教育のスペシャリストの協力を得て、教育理論を基盤に実践に即した教育原理について学ぶ機会を設けています。本プログラム受講後には、看護学修士の学位が取得でき、臨床現場の看護教育担当者として即戦力になることが期待されます。

老人看護専門看護師に加えて、新たにがん看護専門看護師養成プログラムを設置しました

愛媛県内初のがん看護CNSコースを開講します。がんに関するエビデンスに基づいた専門的知識を深め、がん患者さんやその家族が望む生活や人生を過ごすために必要なケアとキューアを提供できる高い実践能力と指導力の修得を目指して、医学部や様々な医療機関と連携して教育や実習を行います。また、新たな看護を創造するための研究力を備え、かつ豊かな人間性と倫理観を身につけた実践者の育成を目標としています。

専攻の特色

- ❁これまでの臨床経験に応じて、学生の**専門性に合わせた授業科目が選択**できます。
- ❁2コースの**専門看護師養成プログラム**を設け、エビデンスに基づく臨床判断、対象患者とその家族に対して、高度な看護実践が行える能力が修得できます。
- ❁看護職のみならず**多職種と共に学び研鑽し合える環境**が整っています。

受験資格

- ①大学卒業の者
または
- ②本学の入試資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学する年の3月までに22歳に達する者(最終学歴が短期大学、看護専修学校などで、看護師など(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、救急救命士、臨床工学技士、栄養士、歯科衛生士等も含む)の資格を取得後、実務経験を有する者)

修了の要件

博士前期課程に原則として2年以上在学し、所定の30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を在学期間中に提出し、その審査及び最終試験に合格すること。課程を修了した者には、**修士(看護学)**の学位を授与する。

※老人看護CNS・がん看護CNS養成プログラムの場合は、実習10単位以上を含む40単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を在学期間中に提出して、その審査及び最終試験に合格すること。

博士後期課程(博士) ※募集人員2名

広範な学識と豊かな人間性を基盤に、先端かつ多角的な視点で看護問題を分析し独創的な方法で解決できる、地域包括ケアを牽引できるリーダーを育成。



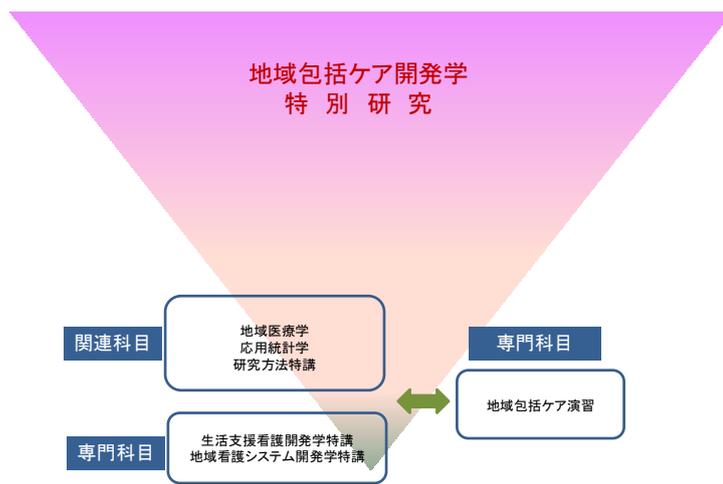
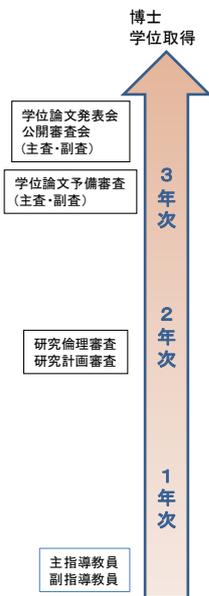
博士後期課程における
アドミッションポリシー

修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)および教育課程編成の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、以下の知識や技能、能力、意欲を持つ学生を求めます。

1. 保健・医療・福祉領域の研究に強い関心を持ち、その分野の専門的な知識を有する者
2. 国内外の文献を読み解く語学力と分析力を有する者
3. 教育・研究者としてのコミュニケーション能力、ならびに理論的思考力を有する者
4. 自ら問題意識を持ち自立的に研究に取り組める者
5. 研究をとおして地域包括ケアの構築に貢献する明確な意思を持つ者
6. 博士後期課程修了後に、地域包括ケアを牽引し、自らの実践領域における教育・研究をリードしていく明確なキャリア・ビジョンを持つ者

看護学専攻博士後期課程カリキュラムツリー

専攻の特色



- ❁ 地域包括ケアを牽引できるリーダーとなる保健・医療・福祉の高度専門職の養成への一貫した教育を行っています。
- ❁ 地域包括ケア開発学より専門的、かつ独創的な研究を発展できるようなカリキュラムの構成となっています。
- ❁ 地域医療の現場においてフィールドワークを取り入れ、自己の研究的関心に即した多様なフィールドワークと文献の多角的な分析を通して自己の研究課題に取り組みます。
- ❁ 主指導教員1名、副指導教員2名という複数教員による充実した研究指導体制を設けています。
- ❁ 愛媛大学地域協働センター中予東温と連動し、教育・研究の質を確保する環境が整っています。

❁ 看護師資格取得者だけでなく、保健・医療・福祉分野の専門職が受講できるようになりました

受験資格

修士の学位又は専門職学位有する者。または、本学の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学する年の3月までに24歳に達する者

修了の要件

博士後期課程に3年以上在学し、所定の単位14単位以上(専門科目の必修科目6単位、関連科目の選択科目2単位以上、特別研究6単位)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けて学位論文を提出し、その審査および最終試験に合格すること 課程を修了した者には、博士(看護学)の学位を授与する。

Message 博士前期課程

臨床現場で質の高い看護教育をするために



大久保 真理
Okubo Mari
令和6年度入学
看護教育プログラム
コース

看護主任として日々、病棟看護師や看護学生への指導、看護学校の外部講師を担うなかで、自分自身の教育方法に自信がもてずに悩んでいるときに本学に看護教育プログラムが設置されることを知り入学を決めました。看護の哲学や理論、倫理を学び直すことは教育者としての基盤を固めるだけでなく、同期とのディスカッション通して自分が行う看護の視野を広げることができました。また、実践に即した授業内容であるため、授業で学んだことを日々の教育と結びつけて活かすことができています。

三交代勤務をしながらの通学は大変な時期もありましたが、先生方の温かいご支援と職場の勤務時間の配慮、同期の支えがあり1年間乗り越えることができました。

Message 博士後期課程

地域社会の課題の解決に向かって 自ら切り開いていく



藤村 保志花
Fujimura Hoshika
令和5年度入学

私は行政保健師の経験を経て現在大学教員として勤めており、研究力をつけるために思い切って博士後期課程に進学しました。自分が現場で悩んだこと、困ったことを研究の問いに昇華し、理論的な手法によって課題解決の糸口を見出して地域社会や看護学全体に還元していくことは、研究の醍醐味であると感じています。緻密に研究を構築していくことにはもちろん難しさがあります。しかしそれ以上に、まだまだこんなにも知らない世界が広がっているのかという新鮮さと驚きによって知的探求心が刺激され、充実した日々を送っています。

仕事と家庭と研究の両立ができるか不安でしたが、先生方が本当に丁寧にサポートして下さり、県外在住者の私も継続して取り組むことができています。進学を検討している皆様、ともに学べることを楽しみにお待ちしております！

●大学院を目指す方へ

令和7年度入学試験実施スケジュール

	1回目	2回目※
募集要項公表	7月	11月
入試説明会	6月	10月
入学資格審査 申請期限*	7月末	11月末
出願	8月	12月
試験日	9月13日予定	1月下旬
合格発表	10月上旬	2月中旬

*入学資格審査対象者のみ

※2回目の入試は、1回目の入試で定員に満たない場合のみ実施します。

●入学者選抜方法

	選抜方法	受験資格	試験科目
博士前期課程	一般選抜	①大学卒業の者 または ②本学の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学する年の3月までに22歳に達する者(事前に資格審査があります)	● 筆記試験(小論文) ● 2年以内のTOEICまたはTOEFLスコア ● 口述試験
	社会人特別選抜	一般選抜の受験資格を有する者で2年以上の勤務経験のある者(専門看護師養成プログラムを希望する場合は、実務経験が通算5年以上必要です)	● 筆記試験(小論文のみ) ● 口述試験
期博士課程後	一般選抜	修士の学位または専門職学位を有する者および入学する年の3月までにその見込みがある者	● 筆記試験(外国語のみ) ● 口述試験

働きながら学びやすい環境の充実

昼夜開講制

仕事を続けながら大学院進学ができるように、平日に6時限(18:00~19:30)、7時限(19:40~21:10)を設け、必要に応じて土曜日にも開講し、標準修業年限(博士前期課程2年、博士後期課程3年)で修了できるように授業を行います。

長期履修制度

職業、家事、育児、介護などの事情をもつ学生のために、標準修業年限を超えた年数で履修できる制度です。授業料は、標準修業年限の学生が負担する額を、長期履修の期間で按分した額が年額となります。

遠隔授業の実施

遠方にお住まいの学生のために、**8割以上の科目でMicrosoft Teamsを用いてオンライン授業を実施**しています。通学に時間をとられないため、愛媛県外からの受講も可能です(CNSコースは対面授業・実習があります)。

●入学料および授業料

区分	納付金額
入学料	282,000円
授業料	267,900円(前期分) 535,800円(年額)

※入学料及び授業料の額は、令和6年度納付額。

病院で教育を担当する看護師のための看護教育プログラム 愛媛大学独自の給付型奨学金制度

本プログラムは2年間(長期履修制度を利用した場合3年間)で講義・演習・実習の合計30単位の修得が求められます。集中して学習できる環境を提供する為に、財政的な支援制度を設けました。

給付内容

- 1人あたり 入学料, 授業料(1年次前期分のみ) 計549,900円
- 上限2名まで



愛媛大学大学院
医学系研究科看護学専攻

〒791-0295 愛媛県東温市志津川
TEL:089-960-5868(大学院チーム)

愛媛大学ホームページ

<https://www.ehime-u.ac.jp/>

愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻/医学部看護学科ホームページ

<https://www.m.ehime-u.ac.jp/nursing/>